

令和4年度発達障害研修（子どもの支援編） 実施要項
～発達が気になる子の理解と支援～

| | |
|---------|--|
| 1 目的 | <p>子どもを支援している中で、発達が気になるお子さんがいた時に、支援者は、早い段階において適切な対応を図ることが重要です。</p> <p>そこで、本研修では、未就学児から小学生位までの子どもを支援している方を対象に、子どもや保護者への支援を的確に行うために、発達障害の基本的な知識・技術を習得することを目的として開催します。</p> |
| 2 研修形態 | <p>ライブ配信研修（Zoom オンライン） ※研修日程のとおり</p> |
| 3 配信日 | <p>【1日目】令和4年7月26日（火） 9：55～16：00（Zoom オンライン5時間） 【2日目】令和4年7月27日（水） 9：55～16：00（Zoom オンライン5時間）</p> |
| 4 対象者 | <p>社会福祉施設・事業所に勤務している直接処遇職員等 【定員】95名 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（先着順）</p> |
| 5 受講料等 | <p>会員 6,000円（税込）1人あたり、2日間、資料代を含む） 非会員 10,000円（税込）1人あたり、2日間、資料代を含む） ※申込締め切り後、請求書をメールでお送りしますので、期限内に必ずお振込みください。 期限までに受講料を振り込まれない場合は、研修に参加することができません。</p> |
| 6 申込方法 | <p>研修システムにより、お申込ください。 ※申込された方は、申込締め切り後「承認通知」をメールで送付します。</p> |
| 7 申込期間 | <p><u>令和4年5月31日（火）～令和4年6月27日（月）</u></p> |
| 8 留意事項 | <p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、システムで変更してください。<u>申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料のキャンセルポリシーについて」を御確認ください。</u>（代理の方の出席をお勧めします。） ② 受講申込みに記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。 ③ 配信などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。⇒掲載場所⇒<u>茨城県社会福祉協議会研修システムページ</u> <u>(https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/)</u> 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。 ④ 研修受講場所や方法を事業所で決定してからお申し込みください。 ⑤ 動画を視聴するためには、インターネットに接続できる環境及び資料等をプリントアウトできるプリンタ等を準備していただく必要があります。 ⑥ <u>動画と資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、スクリーンショットやダウンロードおよび資料等の無断転用や受講用 URL の無断転載は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただきますことがございます。</u> ⑦ 不明な点などがございましたら、事前に下記まで御連絡ください。</p> |
| 9 修了証 | <p>受講者は、研修レポートを期限までに提出してください。 レポート提出後、マニュアルP13を参照の上、修了証をダウンロードしてください。</p> |
| 10 問合せ先 | <p>社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（平間・大谷） TEL：029-244-3755 E-MAIL：kenshu@ibaraki-welfare.or.jp</p> |

研 修 日 程

【1日目ライブ配信研修（Zoom オンライン）】

| 日 時 | 研修科目 | ねらい |
|--|--|-------------------------------|
| 令和4年7月26日(火) 9:20～9:55 9:55～10:00 | Zoom 入室開始・承認 開講／オリエンテーション | 発達障害についての基本的な知識を習得する。 |
| 10:00～16:00 昼食・休憩は 12:00～13:00の予定 (適宜休憩があります) | 講義・演習 「行動・発達が気になる子への視点と支援」 1 乳幼児期から学童期の発達が気になる子のようす ①乳児期②幼児期③乳幼児健診④学童期 ・グループワーク 2 発達障害とは ・3つのグループと特徴を知る（ADHD・ASD・LD） 3 発達が気になる子と支援 ①発達が気になる子、困っている子の（不適切な行動）背景 ②乳幼児期の支援状況 ③学校現場の支援状況 ④発達検査を知る 4 発達が気になる子の身体特徴 ①発達のピラミッドから見る原始反射と感覚 ②子どもへのアプローチの仕方 ③1日目の振り返り ・グループワーク・質疑応答 | 発達障害の子ども（未就学児～小学生程度）の行動を理解する。 |
| 16:00 | 閉講 | |

【2日目ライブ配信研修（Zoomオンライン）】

| 日 時 | 研修科目 | ねらい |
|--|---|-------------------------------|
| 令和4年7月27日(水) 9:20～9:55 9:55～10:00 | Zoom 入室開始・承認 開講／オリエンテーション | 発達障害についての基本的な知識を習得する。 |
| 10:00～16:00 昼食・休憩は 12:00～13:00の予定 (適宜休憩があります) | 講義・演習 5 優位感覚（認知特性）と支援 ①優位感覚の種類 ②視覚優位と支援 ③聴覚優位と支援 ④同時処理と継次処理 6 発達が気になる子の行動（不適応行動を考える） ①発達障害と二次障害 ②発達と脳内ホルモン ・グループワーク ③療育とは ④ソーシャルスキルトレーニング ⑤発達課題とライフスキル ⑥気になる行動をする子への対応の実際（環境設定と構造化） 7 保護者支援 ①発達障害児を持つ家族の障害受容 ②親への支援の実際 ③ペアレントトレーニング ④子どもの課題を強みに変える「リフレム」という考え方 8 乳幼児期から学童期の子の発達を見守る視点のまとめ ・事例展開のグループワーク ・研修の振り返り・質疑応答 | 発達障害の子ども（未就学児～小学生程度）の行動を理解する。 |
| 16:00 | 閉講 | |

※双方向の研修と演習実施のため、一人1台のパソコンとイヤホンマイクを御用意の上、参加して下さい。
※本研修の動画と資料データの著作権は、研修講師にあります。複製、録画は違法となりますので、絶対に行わないでください。

講師紹介：Re.sense Labo（リセンスラボ） 代表 小林 純子 氏

発達支援教室リセンスラボ主宰/一般社団法人ナーチャリングセンソリー協会代表

救急医療から高齢者看護の管理職や看護学校教員を経て、2006年より約9年間（延べ5000件以上）母親のメンタルケア相談事業を行った後、2015年に発達障害支援に特化した法人を設立。

発達段階に応じた親子が、並行して学べる発達支援教室の運営・管理を始め、発達障害親の会でのペアレント トレーニング講座や保育職員・学校教員・支援施設職員・保護者対象の講演や研修講師を行っている。

【研修前準備と研修後のレポート提出について】

| | |
|------|--|
| 配布資料 | ライブ配信研修前には、研修システムページにログイン後、「課題管理ボタン」から資料をダウンロードしてください。 ※各受講生1回のみダウンロード及び印刷とし、他者へ資料を転送しないようにお願いします。 |
| レポート | <u>受講生が職員IDとパスワードで研修システムにログインし、回答してください。研修システムマニュアル Ver9 の p31 もしくは研修レポート提出の流れを参照ください。</u> 修了証を希望する方は、研修終了後8月3日（水）までに、レポートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行対応ができませんので予めご了承ください。 |